

令和8年度 科目別シラバス

教科	科目	単位数	学年	類型
国語	論理国語	2	3	全

教科書（発行者）	補助教材等（発行者）
精選 論理国語（数研出版）	改訂版評論速読トレーニング1500（数研出版）、入試頻出漢字＋現代文重要語句TOP2500三訂版（いっずな書店）、大学入学共通テスト演習 現代文 四訂版（いっずな書店）、総合版共通テスト＋センター試験国語過去問題（尚文出版）

学習目標	<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>
------	---

評価の観点及びその趣旨	知	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにしている。
	思	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。
	体	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。

単元及び学習内容	学習のアドバイス	評価方法	学習予定時期
異文化と普遍	表現に込められた筆者の意図を読み取り、自分の生活と関連付けて考察してみよう。	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 ワークシート 小テスト 	4月～5月
情報と社会	文章中の比喩表現や強調表現の内容を理解しよう。	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 ワークシート 小テスト 	6月～7月
思考の枠組み	語彙力を身につけて、論理的な文章を読解する力をつけよう。	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 ワークシート 小テスト 	7月～9月
考えの表出	文章を読解したうえで問題意識を持ち、自分の考えを根拠とともに論述する力をつけよう。	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 ワークシート 小テスト 	10月～11月

表現	読み手を意識した構成・展開を考え、説得力のある文章を書けるようにしよう。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・ワークシート ・小テスト 	12月～2月
----	--------------------------------------	---	--------

年間評価	知	思	体
観点別評価割合 (授業内評価 + 定期考査評価)	40 % 程度	40 % 程度	20 % 程度

※「観点別学習状況評価」・・・3段階評価 (A/B/C) 【1学期末、2学期末、学年末 (年間評価)】

※「評定評価」・・・・・・・・・・5段階評価 (5/4/3/2/1) 【学年末 (年間評価)】

全体を通して	まずは語彙力を身につけましょう。そのうえで問題意識を持って文章を読み、自分の考えを深めていきましょう。
--------	---

令和8年度 科目別シラバス

教科	科目	単位数	学年	類型
国語	文学国語	2	3	A1・A2

教科書（発行者）	補助教材等（発行者）
文学国語（数研出版）	入試頻出国語＋現代文重要語 TOP2500（いっずな書店） 大学入学共通テスト演習 現代文 四訂版（いっずな書店） 総合版共通テスト＋センター試験国語過去問題（尚文出版）

学習目標	<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。</p> <p>(2) 深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>
------	---

評価の観点及びその趣旨	知	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
	思	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
	体	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元及び学習内容	学習のアドバイス	評価方法	学習予定時期
昭和後期の小説	複数の視点で描かれている点や表現効果などを確認しながら読み進めよう。	・定期考査 ・ワークシート ・小テスト	4月～5月
平成の小説	情景の豊かさや心情の機微を表す語句を読み取り、小説の奥深さを味わおう。	・定期考査 ・ワークシート ・小テスト	6月～7月
明治の小説	明治時代の文章に触れ、古典文法の復習もしながら読み進めよう。	・定期考査 ・ワークシート ・小テスト	7月～9月
明治の小説	時間の流れを意識しながら、登場人物の心情の変化を丁寧に味わおう。	・定期考査 ・ワークシート ・小テスト	1月 10月～11月
詩歌	さまざまな技巧や言語表現の試みに気づき、言葉や表現に対する感覚を磨いていこう。	・定期考査 ・ワークシート	～ 12月

年間評価	知	思	体
------	---	---	---

観点別評価割合 (授業内評価 + 定期考査評価)	40 % 程度	40 % 程度	20 % 程度
--	-------------------	-------------------	-------------------

※ 「観点別学習状況評価」・・・3段階評価 (A/B/C) 【1学期末、2学期末、学年末 (年間評価)】

※ 「評定評価」・・・・・・・・・・5段階評価 (5/4/3/2/1) 【学年末 (年間評価)】

全体を通して	さまざまな時代の文学に親しみ、その時代ごとの人々の考え方や捉え方を味わいましょう。語彙力を身につけて、的確に心情を読み取れるようにしよう。
--------	---

令和8年度 科目別シラバス

教科	科目	単位数	学年	類型
国語	古典探究	3	3	A1・A2

教科書（発行者）	補助教材等（発行者）
高等学校精選 古典探究 （第一学習社）	新装版新しい古典の学習 2 in 1 スタイル 学ぶぞ古文と漢文（尚文出版）、みるみる覚える古文単語 300 + 敬語 30 三訂版（いっずな書店）、大学入学共通テスト演習 古典 四訂版（いっずな書店）、総合版共通テスト + センター試験国語過去問題（尚文出版）

学習目標	<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。</p> <p>(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>
------	--

評価の観点 及びその趣旨	知	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。
	思	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。
	体	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、古典に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めようとしている。

単元及び学習内容	学習のアドバイス	評価方法	学習 予定 時期
日記	感情が表れている形容詞に注意して、作者の心情を読み取ろう。	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 ワークシート 小テスト 	4月～5月
物語 諸家の思想	登場人物の行動と、それを支える思想や歴史的背景を理解し、考えを深めよう。	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 ワークシート 小テスト 	6月～7月
随筆 古代の史話	漢文の基本句形を覚えよう。書き手の考えや目的を捉えて内容を解釈しよう。	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 ワークシート 小テスト 	7月～9月
評論	筆者の主張を読み取り、和歌等の日本文学に関する理解を深めよう。	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 ワークシート 小テスト 	10月～11月

逸話	今までに学習した漢文の構造や訓読についての知識を活用して、現代にも通用する教訓を学ぼう。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・ワークシート ・小テスト 	1 2月 ～ 2月
----	--	---	--------------------

年間評価	知	思	体
観点別評価割合 (授業内評価 + 定期考査評価)	40 % 程度	40 % 程度	20 % 程度

※「観点別学習状況評価」・・・3段階評価 (A/B/C) 【1学期末、2学期末、学年末 (年間評価)】

※「評定評価」・・・・・・・・・・5段階評価 (5/4/3/2/1) 【学年末 (年間評価)】

全体を通して	1・2年生で習った知識を使ってさまざまな文章を読んでいます。 古典の知識が足りないと感じる人は、早めに復習しておきましょう。
--------	---

令和8年度 科目別シラバス

教科	科目	単位数	学年	類型
国語	教養国語	2	3	A1

教科書（発行者）	補助教材等（発行者）
本校編集の教材	ニューフェイズ 現代文3（第一学習社） 古文・漢文 クリアシリーズ古典 グレートラーニング48 レベル3（尚文出版）

学習目標	<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。</p> <p>(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>
------	--

評価の観点 及びその趣旨	知	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。
	思	各領域において、論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。
	体	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、古典に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めようとしている。

単元及び学習内容	学習のアドバイス	評価方法	学習 予定 時期
<ul style="list-style-type: none"> 言語に関する文章の読解 説話の読解 	<ul style="list-style-type: none"> 文章を根拠に筆者の主張を捉えよう。 古文の基本文法や単語を再確認しよう。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 ワークシート 小テスト 	4月 ～ 5月
<ul style="list-style-type: none"> 文章作成の基礎 句法や漢字の知識の運用 	<ul style="list-style-type: none"> 文章作成の基本ルールをしっかりとおさえよう。 漢文に関する基本知識を掴もう。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 ワークシート 小テスト 	6月 ～ 7月
<ul style="list-style-type: none"> 意見文を書く 歴史物語の読解 	<ul style="list-style-type: none"> 自身の意見を過不足なく伝わる文章を考えよう。 歴史物語特有の表現と敬語表現を再確認しよう。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 ワークシート 小テスト 	9月 ～ 10月
<ul style="list-style-type: none"> 思想・哲学に関する文章の読解 日本文学史と漢詩の歴史 	<ul style="list-style-type: none"> 抽象的な内容を具体的に想像しながら理解するようになろう。 日本と中国の文学の流れを意識して把握しよう。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 ワークシート 小テスト 	11月 ～ 12月

<ul style="list-style-type: none"> ・小説作品の読解 ・ディベート 	<ul style="list-style-type: none"> ・相手の意見を受け入れつつ、自分の意見を正確に相手に伝える工夫をしよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・ワークシート ・小テスト 	1月～2月
--	--	---	-------

年間評価	知	思	体
観点別評価割合 (授業内評価 + 定期考査評価)	33% 程度	33% 程度	34% 程度

※「観点別学習状況評価」・・・3段階評価 (A/B/C) 【1学期末、2学期末、学年末 (年間評価)】

※「評定評価」・・・・・・・・・・5段階評価 (5/4/3/2/1) 【学年末 (年間評価)】

全体を通して	<p>国語に関する基本を現代文古典にかかわらず学習していきます。</p> <p>文章作成や話すことなどにも挑戦していきますので、色々なことに挑戦していきましょう。</p>
--------	---

令和8年度 科目別シラバス

教科	科目	単位数	学年	類型
地理歴史	日本史探究	3	3	A1

教科書（発行者）	補助教材等（発行者）
詳説日本史（山川出版社）	新詳日本史（浜島書店）

学習目標	社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。
------	---

評価の観点 及びその趣旨	知	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。
	思	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。
	体	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

単元及び学習内容	学習のアドバイス	評価方法	学習 予定 時期
第9章 幕藩体制の成立と展開 第10章 幕藩体制の動揺	<ul style="list-style-type: none"> ・長期にわたる幕藩体制の支配がなぜ続いたのかを理解しよう。 ・幕政の改革がなぜ行われたのか、その後の歴史にどのような影響を与えたのかを考察しよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・小テスト ・授業での取組 ・提出課題 ・定期考査 	4月 ～ 5月
第11章 近世から近代へ	<ul style="list-style-type: none"> ・欧米諸国の日本への接近を理解しよう。 ・開国がどのような影響を与えたのかを考察しよう。 ・江戸幕府滅亡の背景と影響を考察しよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・小テスト ・授業での取組 ・提出課題 ・定期考査 	6月
第12章 近代国家の成立	<ul style="list-style-type: none"> ・明治政府の諸政策を理解しよう。 ・自由民権運動の展開や大日本帝国憲法の制定と議会開設に至る過程を考察しよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・小テスト ・授業での取組 ・提出課題 ・定期考査 	6月 ～ 7月

第13章 近代国家の展開	<ul style="list-style-type: none"> ・日清・日露戦争の前後における条約改正の完成、韓国併合や満洲への勢力拡張などについて理解しよう。 ・第一次世界大戦が日本に及ぼした影響に着目して、大戦後の国際的な協調体制における日本の立場や対外政策の変化について考察しよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・小テスト ・授業での取組 ・提出課題 ・定期考査 	7月～9月
第14章 近代の産業と生活	<ul style="list-style-type: none"> ・日本における産業革命の展開について理解しよう。 ・明治期の市民生活の変化や大衆文化の形成について考察しよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・小テスト ・授業での取組 ・提出課題 ・定期考査 	9月～10月
第15章 恐慌と第二次世界大戦	<ul style="list-style-type: none"> ・世界恐慌を背景とする国際関係の変遷について理解している。 ・戦争の推移と国民生活への影響などに着目して、戦時体制の強化と第二次世界大戦の展開について考察しよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・小テスト ・授業での取組 ・提出課題 ・定期考査 	10月～11月
第16章 占領下の日本	<ul style="list-style-type: none"> ・第二次大戦前後の政治や社会の類似と相違などに着目して、占領政策と諸改革について理解している。 ・戦後の諸改革が連合国の対日占領政策のもとづくとともに、戦争に対する日本国民の反省に支えられつつ実施されたことについて、多面的・多角的に考察しよう。 ・冷戦やグローバル化の進展の影響などに着目して、戦後の日本経済の成長や高度成長期の国民生活を考察しよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・小テスト ・授業での取組 ・提出課題 ・定期考査 	11月～12月
第17章 高度成長の時代			
第18章 激動する世界と日本	<ul style="list-style-type: none"> ・世界経済の混乱に対応するため主要先進国首脳会議が開かれる一方、日本は石油危機を乗り越えて経済大国となったことを理解しよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・小テスト ・授業での取組 ・提出課題 ・定期考査 	1月～2月

年間評価	知	思	体
観点別評価割合 (授業内評価 + 定期考査評価)	46 % 程度	30 % 程度	24 % 程度

※各単元の評価方法は全て実施するとは限らない。

※「観点別学習状況評価」・・・3段階評価 (A/B/C) 【1学期末、2学期末、学年末 (年間評価)】

※「評定評価」・・・5段階評価 (5/4/3/2/1) 【学年末 (年間評価)】

全体を通して	<p>授業は教員と生徒の皆さんと一緒に作り上げていくものだと考えています。歴史的な事象を通して、物事を多面的・多角的に見たり考えたりする力を身につけていきましょう。皆さんの考えを聞く機会も持ちたいと思っています。考えたことを表現する練習をしましょう。</p>
--------	---

令和8年度 科目別シラバス

教科	科目	単位数	学年	類型
地理歴史	世界史探究	3	3	A1

教科書（発行者）	補助教材等（発行者）
詳説世界史（山川出版社）	アカデミア世界史（浜島書店）

学習目標	社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。
------	--

評価の観点 及びその趣旨	知	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
	思	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
	体	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

単元及び学習内容	学習のアドバイス	評価方法	学習 予定 時期
第12章 産業革命と環大西洋革命	<ul style="list-style-type: none"> 環大西洋革命と呼ばれる諸革命について理解しよう。 これらの革命がなぜ起こったのか、その後の歴史にどのような影響を与えたのかを考察しよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート 小テスト 授業での取組 授業態度 定期考査 	4月
第13章 イギリスの優位と欧米国民 国家の形成	<ul style="list-style-type: none"> 19世紀の欧米各国の情勢を理解しよう。 ウィーン会議、イタリアとドイツの統一、南北戦争がなぜ起こり、どのような影響を与えたのかを考察しよう。 19世紀の欧米文化の背景と影響を、作品を通して考察しよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート 小テスト 授業での取組 授業態度 定期考査 	4月～6月
第14章 アジア諸地域の動揺	<ul style="list-style-type: none"> 西アジア、南アジア、東南アジア、中国とヨーロッパ列強の関係を理解しよう。 ヨーロッパ列強の進出を受けたアジア諸国の近代化の成果と課題を考察しよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート 小テスト 授業での取組 授業態度 定期考査 	6～7月

第 15 章 帝国主義とアジアの民族運動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 帝国主義について、ヨーロッパ列強の世界分割の例をみながら理解しよう。 ・ アジア各国の改革や民族運動について理解しよう。 ・ 帝国主義とアジアの民族運動の成果と課題について考察しよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ワークシート ・ 小テスト ・ 授業での取組 ・ 授業態度 ・ 定期考査 	7月～9月
第 16 章 第一次世界大戦と世界の変容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第一次世界大戦とロシア革命について理解しよう。 ・ 第一次世界大戦後の国際秩序について理解しよう。 ・ 第一次世界大戦とロシア革命が、その後の世界に与えた影響を考察しよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ワークシート ・ 小テスト ・ 授業での取組 ・ 授業態度 ・ 定期考査 	9月～10月
第 17 章 第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成	<ul style="list-style-type: none"> ・ 世界恐慌が起こった背景とその影響を理解しよう。 ・ 第二次世界大戦の対立の構図と経緯、終戦後に形成される国際秩序について理解しよう。 ・ 世界恐慌後になぜ保護貿易主義やファシズムが盛り上がるのかを考察しよう。 ・ 第二次世界大戦後に新しい国際秩序が生まれる背景について考察しよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ワークシート ・ 小テスト ・ 授業での取組 ・ 授業態度 ・ 定期考査 	10月～11月
第 18 章 冷戦と第三世界の台頭	<ul style="list-style-type: none"> ・ 冷戦の進展と各国の状況を理解しよう。 ・ 冷戦下の東西両陣営の社会の変容について考察しよう。 ・ キューバ革命やベトナム戦争などの冷戦体制を動揺させる事件が起こった背景やその影響について考察しよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ワークシート ・ 小テスト ・ 授業での取組 ・ 授業態度 ・ 定期考査 	11月～12月
第 19 章 冷戦の終結と今日の世界	<ul style="list-style-type: none"> ・ 冷戦終結への経緯と背景を理解しよう。 ・ 冷戦後の世界情勢について理解しよう。 ・ 冷戦はなぜ終結したのか、冷戦後の世界でもなぜ対立が続くのかを考察しよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ワークシート ・ 小テスト ・ 授業での取組 ・ 授業態度 ・ 定期考査 	1月～2月

年間評価	知	思	体
観点別評価割合 (授業内評価 + 定期考査評価)	46 % 程度	30 % 程度	24 % 程度

※各単元の評価方法はすべて実施するとは限らない

※「観点別学習状況評価」・・・3段階評価 (A/B/C) 【1学期末、2学期末、学年末 (年間評価)】

※「評定評価」・・・・・・・・・・5段階評価 (5/4/3/2/1) 【学年末 (年間評価)】

全体を通して	<p>授業は教員と生徒の皆さんと一緒に作り上げていくものだと考えています。歴史的な事象を通して、物事を多面的・多角的に見たり考えたりする力を身につけていきましょう。皆さんの考えを聞く機会も持ちたいと思っています。考えたことを表現する練習をしましょう。</p>
--------	---

令和8年度 科目別シラバス

教科	科目	単位数	学年	類型
地理歴史	応用日本史	2	3	A1・A2

教科書（発行者）	補助教材等（発行者）
本校編集の教材（出典 山川出版社 詳説日本史探究（日探 705）	新詳日本史（浜島書店）

学習目標	<p>歴史総合・日本史探究での学習をさらに深化させることを前提として、社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。</p> <p>(1) 日本の文化の変化と特徴について理解させる。</p> <p>(2) 通史で理解したことをもとに、史資料を読み取る判断力を養う。</p> <p>(3) 日本の歴史に親しむことで、社会に生きる人間としての在り方を考え、主体的に取り組む態度を育成する。</p>
------	--

評価の観点及びその趣旨	知	我が国の歴史の展開に関わる諸事象を踏まえ、文化史の変遷について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から、文化史のみでなく我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。
	思	我が国の文化史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりに着目して、諸資料を活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し、解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。
	体	我が国の文化史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探求しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

単元及び学習内容	学習のアドバイス	評価方法	学習予定時期
第1章 江戸時代 1 寛永期の文化 /史資料読解 2 元禄文化/史資料読解 3 宝暦・天明期の文化 /史資料読解 4 化政文化/史資料読解	<ul style="list-style-type: none"> 江戸時代の文化について、内容や特徴、変遷について理解しよう。 江戸時代の史資料を精読し、その史資料が作成された背景や結果を考察しよう。 文章から必要な情報を読み取る力を身につけよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート 小テスト 授業での取組 提出課題 定期考査 	4月～7月

第2章 明治時代 1 近代の教育 /史資料読解 2 明治の文化 /史資料読解	<ul style="list-style-type: none"> ・明治時代の文化について、内容や特徴、変遷について理解しよう。 ・明治時代の史資料を精読し、その史資料が作成された背景や結果を考察しよう。 ・文章から必要な情報を読み取る力を身につけよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・小テスト ・授業での取組 ・提出課題 ・定期考査 	7月～9月
第3章 大正～昭和時代 1 大正・昭和初期の文化 /史資料読解 2 戦時下の文化 /史資料読解 3 戦後の文化 /史資料読解	<ul style="list-style-type: none"> ・大正、昭和時代の文化について、内容や特徴、変遷について理解しよう。 ・大正、昭和時代の史資料を精読し、その史資料が作成された背景や結果を考察しよう。 ・文章から必要な情報を読み取る力を身につけよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・小テスト ・授業での取組 ・提出課題 ・定期考査 	10月～11月
第4章 原始～古代 1 旧石器・縄文・弥生文化 /史資料読解 2 飛鳥文化/史資料読解 3 白鳳文化/史資料読解 4 天平文化/史資料読解 5 弘仁・貞観文化 /史資料読解 6 国風文化/史資料読解	<ul style="list-style-type: none"> ・原始から古代の文化について、内容や特徴、変遷について理解しよう。 ・原始から古代の史資料を精読し、その史資料が作成された背景や結果を考察しよう。 ・文章から必要な情報を読み取る力を身につけよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・小テスト ・授業での取組 ・提出課題 ・定期考査 	11月～1月
第5章 中世 1 院政期の文化 /史資料読解 2 鎌倉文化/史資料読解 3 室町文化/史資料読解 4 桃山文化/史資料読解	<ul style="list-style-type: none"> ・中世の文化について、内容や特徴、変遷について理解しよう。 ・中世の史資料を精読し、その史資料が作成された背景や結果を考察しよう。 ・文章から必要な情報を読み取る力を身につけよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・小テスト ・授業での取組 ・提出課題 ・定期考査 	1月～2月

年間評価	知	思	体
観点別評価割合 (授業内評価 + 定期考査評価)	38 % 程度	25 % 程度	37 % 程度

※各単元の評価方法は全て実施するとは限らない。

※「観点別学習状況評価」・・・3段階評価 (A/B/C) 【1学期末、2学期末、学年末 (年間評価)】

※「評定評価」・・・5段階評価 (5/4/3/2/1) 【学年末 (年間評価)】

全体を通して	日本史探究で学習した内容をベースとして考えたり、表現したりすることに挑戦します。「なぜだろう」「不思議だな」と思う気持ちが大切です。初めは史料を読むことが大変だと思いますが、当時の人々がどのようなことを考えていたのかを想像してみることが大切です。イメージをもって授業に取り組んでみてください。
--------	--

令和8年度 科目別シラバス

教科	科目	単位数	学年	類型
地理歴史	応用世界史	2	3	A1・A2

教科書（発行者）	補助教材等（発行者）
本校編集の教材（出典 山川出版社 詳説世界史探究（世探704）	アカデミア世界史（浜島書店）

学習目標	社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。
------	--

評価の観点及びその趣旨	知	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
	思	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
	体	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

単元及び学習内容	学習のアドバイス	評価方法	学習予定時期
アジア諸地域の動揺	<ul style="list-style-type: none"> ・オスマン帝国、ムガル帝国、清といった大帝帝国がヨーロッパ諸国の進出により衰退していく時代を学習します。 ・これらの地域では、単純にヨーロッパ人の支配を受け入れたのではなく、様々な改革を行って、ヨーロッパ人の支配に抵抗しました。どのような事が行われたのかを学んでいきましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・提出課題 ・小テスト ・授業での取組 ・定期考査 ・授業態度 	4月～5月
帝国主義とアジアの民族運動	<ul style="list-style-type: none"> ・欧米の帝国主義的な侵略に対して、アジア諸国では民族運動が起こります。それぞれの地域について、どのような運動が行われたのでしょうか。また、指導者はどのような人々だったのでしょうか。各地域について、学んでいきます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・提出課題 ・小テスト ・授業での取組 ・定期考査 ・授業態度 	6月～7月

第一次世界大戦と世界の変容	・ヴェルサイユ体制下の欧米諸国では各国の民族自決が認められました。しかし、アジア・アフリカ諸国では状況が違いました。どのような点が違っていたのでしょうか。また、アジア・アフリカ諸国の人々はどのように行動したのでしょうか。	・提出課題 ・小テスト ・授業での取組 ・定期考査 ・授業態度	9月
第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成	・第二次世界大戦に向かっていく世界で、アジア・アフリカ諸国はどのような状況になっていたのでしょうか。特に満州事変以降の中国と日本の侵略について学びます。	・提出課題 ・小テスト ・授業での取組 ・定期考査 ・授業態度	10月～11月
冷戦と第三世界の台頭	・第二次世界大戦が終わり、米ソの冷戦がはじまります。米ソどちらかの陣営に属する国もあれば、第三世界として独自の外交を展開した国もありました。どのような指導者のもとで、どのような外交を行ったのでしょうか。	・提出課題 ・小テスト ・授業での取組 ・定期考査 ・授業態度	11月～1月
冷戦の終結と今日の世界	・冷戦が終結し、ソ連は消滅しました。米ソの対立がなくなったものの、各地での民族紛争は逆に増加し、国家の分裂や難民の発生といった新たな問題も発生しています。今日、我々が暮らす時代・世界について当事者として学んでいきます。	・提出課題 ・小テスト ・授業での取組 ・定期考査 ・授業態度	1月～2月

年間評価	知	思	体
観点別評価割合 (授業内評価 + 定期考査評価)	38 % 程度	25 % 程度	37 % 程度

※各単元の評価方法はすべて実施するとは限らない

※「観点別学習状況評価」・・・3段階評価 (A/B/C) 【1学期末、2学期末、学年末 (年間評価)】

※「評定評価」・・・5段階評価 (5/4/3/2/1) 【学年末 (年間評価)】

全体を通して	世界史探究では、フォローしきれない欧米以外の地域について学んでいきます。イメージがつかみづらいと感じるかもしれませんが、映像や写真など具体的なイメージを持ちやすい資料も使いながら、進めていきます。皆さんも興味・関心をもって学習に臨んでみてください。
--------	--

令和8年度 科目別シラバス

教科	科目	単位数	学年	類型
公民	政治・経済	2	3	全

教科書（発行者）	補助教材等（発行者）
政治・経済(数研出版)	記入整理・演習と解説 スタディノート 政治・経済(数研出版)

学習目標	社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決に向けて構想したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
------	--

評価の観点 及びその趣旨	知	社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
	思	国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したこととの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養う。
	体	よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深める。

単元及び学習内容	学習のアドバイス	評価方法	学習予定時期
第1章 現代の政治	民主政治の基本原則として、絶対主義、自然権、社会契約、法の支配などの概念や、議会制や権力分立制などとの関連性についての理解を深めよう。	<ul style="list-style-type: none"> ・発問評価 ・ノート ・提出課題 ・小テスト ・定期考査 	4月 ～ 7月
第2章 現代の経済	市場経済における、経済活動と市場の働きと仕組みについて、現実社会の諸事象を通して理解を深めている。特に、代表的な経済学者の考え方や市場構造の変動、具体的な市場における価格形成の事例の考察を通して理解を深めよう。	<ul style="list-style-type: none"> ・発問評価 ・ノート ・提出課題 ・小テスト ・定期考査 	9月 ～ 12月

第3章 現代の国際社会	国際社会と国際法について、人権、国家主権、領土（領海、領空を含む。）などに関する国際法の意義について、現実社会の諸事象を通して理解を深めよう。	・発問評価 ・ノート ・提出課題 ・小テスト ・定期考査	1月～2月
----------------	---	--	-------

年間評価	知	思	体
観点別評価割合 （授業内評価 ＋ 定期考査評価）	47 % 程度	30 % 程度	23 % 程度

※各単元の評価方法は全て実施するとは限らない。

※「観点別学習状況評価」・・・3段階評価（A/B/C）【1学期末、2学期末、学年末（年間評価）】

※「評定評価」・・・・・・・・・・5段階評価（5/4/3/2/1）【学年末（年間評価）】

全体を通して	主体的に授業に参加し、社会的事象に対して多面的・多角的な見方・考え方を身に付けていきましょう。
--------	---

令和8年度 科目別シラバス

教科	科目	単位数	学年	類型
数学	数学総合	2	3	A1

教科書（発行者）	補助教材等（発行者）
本校編集の教材	なし

学習目標	重要な公式の本質を理解する。公式や定理を覚えるだけでなく、それらを使って数学の様々な問題を解けるようにする。
------	--

評価の観点 及びその趣旨	知	公式や定理を理解し、それらの使い方を習得している。
	思	公式の本質を理解し、様々な問題について説明することができる。
	体	粘り強く問題に取り組むことができる。

単元及び学習内容	学習のアドバイス	評価方法	学習 予定 時期
第1章 数と式 第2章 集合と命題 第3章 2次関数	・方程式、不等式などの計算問題をきちんと解けるようにすること。 ・平方完成をきちんとできるようにし、2次関数の最大・最小を求めることができるようにすること。	定期テスト、確認テスト、プリント等	4月～ 7月
第4章 図形と計量 第5章 データの分析 第6章 場合の数と確率	・公式をきちんと使えるようにすること。 ・順列、組合せの違いを理解すること。	定期テスト、確認テスト、プリント等	9月～12 月
第7章 図形の性質	・図形に関する様々な定理を理解すること。 ・問題文から図をきちんと書けるようにすること。	定期テスト、確認テスト、プリント等	1月～ 2月

年間評価	知	思	体
観点別評価割合 （授業内評価 ＋ 定期考査評価）	46 % 程度	31 % 程度	23 % 程度

※「観点別学習状況評価」・・・3段階評価（A/B/C）【1学期末、2学期末、学年末（年間評価）】

※「評定評価」・・・5段階評価（5/4/3/2/1）【学年末（年間評価）】

全体を通して	・数学Ⅰ・Aは共通テストの受験があります。少しでも解けるようにしましょう。 ・数学Ⅰ・Aの内容は一般教養として、就職時にも必要になることがあります。将来のためにもしっかり復習しましょう。
--------	--

令和8年度 科目別シラバス

教科	科目	単位数	学年	類型
理科	理科基礎総合	2	3	A1

教科書（発行者）	補助教材等（発行者）
本校編集の教材	なし

学習目標	<p>自然の事物・現象に関わり、数学的な見方・考え方や理科の見方・考え方、情報に関する科学的な見方・考え方を組み合わせるなどして働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 自然や科学技術と人間生活との関わり及びデータの活用についての理解を深め、科学的に探究するために必要な基本的な知識及び技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 多角的、複合的に事象を捉え、課題を解決するための基本的な力を養う。</p> <p>(3) 様々な事象や課題に知的好奇心をもって向き合い、粘り強く考え行動し、課題の解決に向けて挑戦しようとする態度を養う。</p>
------	--

評価の観点 及びその趣旨	知	自然や科学技術と人間生活との関わり及びデータの活用についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な基本的な知識及び技能を身に付けている。
	思	多角的、複合的に事象を捉え、課題を解決するための基本的な力を身に付けている。
	体	様々な事象や課題に知的好奇心をもって向き合い、粘り強く考え行動し、課題の解決に向けて挑戦しようとしている。

単元及び学習内容	学習のアドバイス	評価方法	学習予定時期
自然と人間生活との関わり	主に地学基礎の学びを深めます。	・レポート ・行動観察	4月上旬～ 5月下旬
科学技術と人間生活との関わり	主に化学基礎の学びを深めます。	・レポート ・行動観察	6月上旬～ 7月中旬
身近な生物や生命現象と科学との関わり	主に生物基礎の学びを深めます。	・レポート ・行動観察	9月上旬～ 10月中旬
自然や科学技術とデータサイエンス	理科だけでなく、数学科や情報科での学びを組み合わせます。	・レポート ・行動観察	10月下旬～ 11月下旬
課題研究	これまでの学んだ手法を用いた探究活動を行います。	・レポート ・行動観察	12月上旬～ 2月中旬

年間評価	知	思	体
観点別評価割合 《授業内評価》	40% 程度	40% 程度	20% 程度

※「観点別学習状況評価」・・・3段階評価（A/B/C）【1学期末、2学期末、学年末（年間評価）】

※「評定評価」・・・5段階評価（5/4/3/2/1）【学年末（年間評価）】

全体を通して

自然現象や科学技術について、理科や数学科、情報科の視点を組み合わせて科学的に探究します。化学、生物学、地学の学びを基盤に、知的好奇心を持って未知の課題に向き合い、観察・実験や調査など通して粘り強く考え抜く姿勢を養います。日常生活における目の前の現象に対してちょっと立ち止まって、科学的に思考できるようになりましょう。

令和8年度 科目別シラバス

教科	科目	単位数	学年	類型
保健体育	体育	2	3	全

学習目標	<p>体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必然性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。</p> <p>(3)運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。</p>
------	---

評価の観点 及びその趣旨	技	運動の多様性や体力の必然性について理解するとともに、それらの技能を身に付けている。
	思	課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。
	体	活動に自主的かつ公正に取り組む、一人一人の違いを大切に、互いに助け合い教え合おうとしている。健康・安全を確保しようとしている。

単元及び学習内容	学習のアドバイス	評価方法	学習 予定 時期
体づくり運動 ・体ほぐし運動 ・実生活に生かす 運動の計画	(1)手軽な運動の実践を通して、心身の状態に気づき、仲間と積極的に関わろう。 (2)ねらいに応じて運動の計画を立て、体力を向上させよう。	・観察	4月 9月 2月
球技 ・ゴール型 (サッカー、ハンドボール、バスケットボール) ・ネット型 (バレーボール、バドミントン、卓球、テニス) ・ベースボール型 (ソフトボール)	(1)勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開しよう。 ※(ゴール型)安定したボール操作を身に付け、空間を効果的に使い攻防しよう。 (ネット型)安定したボール操作、ラケット操作を身につけ、連携した動きで空いた場所をめぐる攻防をしよう。 (ベースボール型)安定したバット操作と走塁と安定したグラブ・ボール操作による守備で攻防を展開しよう。	・観察 ・ゲーム ・スキルテスト ・ワークシート	4月 ～ 6月 (I) 9月 10月 (II) 11月 ～ 1月 (III)

	<p>(2) 自己やチームの課題を発見し解決に繋げよう。気づいたことは言葉にして相手に伝えよう。</p> <p>(3) フェアプレイを大切にし、作戦等の話し合いに積極的に関わり、自主的な活動を目指そう。互いに教え合うことや、安全の確保を意識しよう。</p>		
陸上競技 ・走・跳・投	<p>(1) 効率的な動きを身に付け、スピードや距離を向上させよう。</p> <p>(2) 仲間と課題を発見し、合理的な解決を目指そう。</p> <p>(3) 一人一人の課題を尊重し、自主的に活動に取り組もう。安全の確保を意識しよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・観察 ・計測 ・ワークシート 	4月～6月(I)
器械運動 ・マット運動	<p>(1) 技ができる楽しさや喜びを味わい、自己に適した技で演技できるようになるよう。</p> <p>(2) 仲間と教え合い課題を解決しよう。</p> <p>(3) 挑戦心を大事に自主的に取り組もう。安全の確保を意識しよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・観察 ・発表 ・ワークシート 	9月10月(II)
ダンス ・創作ダンス	<p>(1) 表現したいテーマのイメージを捉えて、緩急強弱のある動きや空間の使い方を工夫して作品を完成させよう。</p> <p>(2) グループの話し合いで表現方法を改善し、よい良い作品にしていこう。</p> <p>(3) それぞれの役割をよく考え、自主的に活動に取り組もう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・観察 ・グループワーク ・発表 ・ワークシート 	9月10月(II)
体育理論	<p>(1) 興味関心のあるスポーツの様々な側面について多面的に深め、知識を身に付けよう。</p> <p>(2) 身に付けた知識に対して考察を深め、自分の言葉で表現しよう。</p> <p>(3) スポーツの理論的学習に自主的に取り組もう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・観察 ・レポート ・発表 ・ワークシート 	7月

年間評価	知・技	思	体
観点別評価割合 《授業内評価》	40 % 程度	30 % 程度	30 % 程度

※「観点別学習状況評価」・・・3段階評価 (A/B/C) 【1学期末、2学期末、学年末 (年間評価)】

※「評定評価」・・・5段階評価 (5/4/3/2/1) 【学年末 (年間評価)】

全体を通して	<p>活動に意欲的に取り組み、技能の向上や勝敗を競う楽しさを味わおう。</p> <p>仲間と協力し、より良い活動を自主的に作り上げよう。</p> <p>将来継続的に実践できるような種目を見つけよう。</p>
--------	---

令和8年度 科目別シラバス

教科	科目	単位数	学年	類型
保健体育	スポーツ総合	2	3	A1

学習目標	<p>体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、主体的、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、健やかな心身の育成に資するとともに、生涯を通してスポーツの推進及び発展に寄与する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) スポーツの多様な意義やスポーツの推進及び発展の仕方について理解するとともに、生涯を通してスポーツの推進及び発展に必要な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) スポーツの推進及び発展についての自他や社会の課題を発見し、主体的、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う</p> <p>(3) 生涯を通してスポーツを継続するとともにスポーツの推進及び発展に寄与することを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う</p>
------	---

評価の観点及びその趣旨	技	スポーツの多様な意義やスポーツの推進及び発展の仕方について理解するとともに、生涯を通してスポーツの推進及び発展に必要な技能を身に付けている。
	思	スポーツの推進及び発展についての自他や社会の課題を発見し、主体的、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている
	体	生涯を通してスポーツを継続するとともにスポーツの推進及び発展に寄与することを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営むための学習に主体的に取り組もうとしている。

単元及び学習内容	学習のアドバイス	評価方法	学習予定時期
球技 ・ゴール型 (サッカー、ハンドボール、バスケットボール、ラグビー、アルティメット) ・ネット型 (インディアカ、バレーボール、バドミントン、卓球、テニス) ・その他の型 (ドッジビー、ポッチャ、)	<p>(1) 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開しよう。</p> <p>※(ゴール型)安定したボール操作を身に付け、空間を効果的に使い攻防しよう。(ネット型)安定したボール操作、ラケット操作を身につけ、連携した動きで空いた場所をめぐる攻防をしよう。</p> <p>(2) 自己やチームの課題を発見し解決に繋げよう。気づいたことは言葉にして相手に伝えよう。</p> <p>(3) フェアプレイを大切にし、作戦等の話し合いに積極的に関わり、自主的な活動を目指そう。互いに教え合うことや、安全の確保を意識しよう。</p>	<p>・観察</p> <p>・ゲーム</p> <p>・スキルテスト</p> <p>・ワークシート</p>	<p>4月</p> <p>5月</p> <p>(I)</p> <p>5月</p> <p>6月</p> <p>(II)</p> <p>10月</p> <p>(III)</p> <p>12月</p> <p>～</p> <p>2月</p> <p>(IV)</p>

<p>トレーニング</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トレーニング論 ・体力トレーニング (筋力、瞬発力、 筋持久力、全身持久力) 	<p>(1) トレーニングの原理・原則を理解しよう。自己の課題を把握し、効果的に実践する能力を身に付け、体力を向上させよう。</p> <p>(2) トレーニングの原則や概念に着目して解決の方法を判断しよう。自分の考えたことを他者に伝えられるようにしよう。</p> <p>(3) トレーニングの安全な実施方法を意識し、自己の能力向上のために主体的に取り組もうとしている。</p>		<p>6月 7月 (II) 9月 (III) 11月 (V)</p>
--	--	--	--

年間評価	知・技	思	体
<p>観点別評価割合 《授業内評価》</p>	<p>40 % 程度</p>	<p>30 % 程度</p>	<p>30 % 程度</p>

※「観点別学習状況評価」・・・3段階評価 (A/B/C) 【1学期末、2学期末、学年末 (年間評価)】

※「評定評価」・・・・・・・・・・5段階評価 (5/4/3/2/1) 【学年末 (年間評価)】

<p>全体を通して</p>	<p>運動やトレーニングを合理的に行うことで、技術や体力を向上させよう。 運動の楽しさを味わいながら、スポーツの発展について考えよう。</p>
---------------	---

令和8年度 科目別シラバス

教科	科目	単位数	学年	類型
外国語	英語コミュニケーションⅢ	3	3	A1

教科書（発行者）	補助教材等（発行者）
LANDMARK Fit English Communication Ⅲ(啓林館)	Reading Forward Orange (エミル出版) LISTENING ACE 10 UPREAD 4 訂版

学習目標	日常的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握することができるようにする。
------	--

評価の観点 及びその趣旨	知	外国語の4技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。外国語の学習を通して、言語の働きや役割などを理解している。
	思	場所・目的・状況などに応じて、日常的・社会的な話題についての情報や考えなどを外国語での確に理解したり適切に伝え合ったりしている。
	体	他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。

単元及び学習内容	学習のアドバイス	評価方法	学習 予定 時期
Lesson 1 「Incredible Edible」 Lesson 2 「Blood Is Blood」 Reading Forward 1~4	<ul style="list-style-type: none"> 単語や既習の文法の知識を用いて文章の内容を理解し、必要な情報を読み取り、要点を捉えることができる。 文章の内容について要点をまとめ、自分の考えを書いて伝えることができる。 本文のテーマ（町おこし、黒人差別）についての自分の考えを英語で伝えることができる。 	定期考査 課題 振り返りシート	4月 ～ 5月 中旬
Lesson 3 「Biomimetics」 Lesson 4 「Political Correctness」" Reading Forward 5~8	<ul style="list-style-type: none"> 単語や既習の文法の知識を用いて文章の内容を理解し、必要な情報を読み取り、要点を捉えることができる。 自然界の生物や事象から生まれた発明品や、政治的中立である表現について理解し、自分の考えを述べることができる。 生態模倣の具体例について文章にまとめ、伝えることができる。 	定期考査 課題 パフォーマンステスト 振り返りシート	5月 下旬 ～ 6月 下旬
Lesson 5 「Saving Our Treasures From the Sea」 Lesson 6 「Body Imperfect」 Reading Forward 9~19 LISTENING ACE 1~8	<ul style="list-style-type: none"> 単語や既習の文法の知識を用いて文章の内容を理解し、必要な情報を読み取り、要点を捉えることができる。 世界文化遺産を守る知恵や建築技法について文章にまとめ、伝えることができる。 感銘を受けた世界遺産について、ペアやグループで話し合うことができる。 	定期考査 課題 振り返りシート	7月 月上旬 ～ 10月 月上旬

Lesson 7 「Christmas Truce」 Lesson 8 「Global Water Crisis」 Reading Forward 20~22 LISTENING ACE 9~16	<ul style="list-style-type: none"> ・ 単語や既習の文法の知識を用いて文章の内容を理解し、必要な情報を読み取り、要点を捉えることができる。 ・ 本文を読み、水不足やバーチャル・ウォーターについて理解し、要点をまとめることができる。 ・ 第一次世界大戦当時の日本や世界各地の社会情勢について考えをまとめ、英語で伝え合うことができる。 	定期考査 課題 パフォーマンステスト 振り返りシート	10月 中旬 ～ 11月 中旬
Lesson 9 「Extinction of Languages」 Lesson 10 「Jose Mujica: The World's Poorest President」 Reading Forward 23~25 LISTENING ACE 17~24	<ul style="list-style-type: none"> ・ 単語や既習の文法の知識を用いて文章の内容を理解し、必要な情報を読み取り、要点を捉えることができる。 ・ 本文を読み、内容について理解し、要点をまとめることができる。 ・ 本文のテーマについて、相手に伝えようとしている。 	定期考査 課題 振り返りシート	11月 下旬 ～ 2月 中旬

年間評価	知	思	体
観点別評価割合 (授業内評価 + 定期考査評価)	46 % 程度	31 % 程度	23 % 程度

※ 「観点別学習状況評価」・・・3段階評価 (A/B/C) 【1学期末、2学期末、学年末 (年間評価)】

※ 「評定評価」・・・・・・・・・・5段階評価 (5/4/3/2/1) 【学年末 (年間評価)】

全体を通して	<p>単語力と語彙力の早期完成が必要です。教科書や教材を漫然と見るだけでは力は伸びません。単語や英文をしっかり声に出して読みましょう。英語を読むことが話すこと・聞くこと・書くことに繋がります。また、授業内の言語活動には、昨年度に引き続き、前向きに取り組みましょう。パフォーマンステストには、失敗を恐れず、様々なテーマ・様々なテストに臨んでください。</p>
--------	--

令和8年度 科目別シラバス

教科	科目	単位数	学年	類型
外国語	論理・表現Ⅲ	3	3	A1

教科書（発行者）	補助教材等（発行者）
EARTHRISE English Logic and Expression III Standard (数研出版)	英文法強化演習 New Frame650 New Edition (桐原書店)、Scramble 構文とイディオム 3rdEdition(旺文社)

学習目標	日常的な話題に加え、社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開など、支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合ったり、やり取りを通して必要な情報を得たりすることができるようにする。
------	---

評価の観点及びその趣旨	知	英語についての音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。
	思	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。
	体	英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

単元及び学習内容	学習のアドバイス	評価方法	学習予定時期
Part 1 Lesson 1 New Year's celebration Lesson 2 Working and studying online	<ul style="list-style-type: none"> 意見、希望、欲求を述べる表現や賛成、反対を述べる表現の用法・意味を理解し、自分の考えを伝え合う技能を身に付けている。 食文化に関して、情報や自分の考えを書いて伝えることができる。 オンライン授業に関して、自分の考えをまとめ、論理的に発表しようとしている。 	定期考査 課題 小テスト	4月～ 5月中旬
Lesson 3 Recreation Lesson 4 Open campus	<ul style="list-style-type: none"> 勧誘、招待、期待を述べる表現や計画、意図を述べる用法・意味を理解し、自分の考えを伝え合う技能を身に付けている。 友人と一緒にしたいことに関して、論理の構成や展開を工夫して書いて伝えようとしている。 オープンキャンパスに関して、自分の考えをまとめ、聞き手に伝わるように論理的に発表しようとしている。 	定期考査 課題 パフォーマンス テスト 小テスト	5月下旬～ 6月下旬

Lesson 5 Places to buy lunch Lesson 6 A helping hand	<ul style="list-style-type: none"> ・提案、助言、程度、譲歩を述べる用法・意味を理解している。 ・困っている人を助けたことに関して、論理の構成を工夫し発表しようとしている。 	定期考査 課題 小テスト	7月 上旬 ～ 10月 上旬
Lesson 7 Online shopping Lesson 8 Sharing information	<ul style="list-style-type: none"> ・依頼、要請、許可を述べる用法・意味を理解している。・オンラインショッピングに関して、伝えたい内容を整理し、聞き手に伝わるように論理的に話そうとしている。 	定期考査 課題 パフォーマンス テスト 小テスト	10月 中旬 ～ 11月 中旬
Lesson 9 Fixing dates Lesson 10 Work experience programs	<ul style="list-style-type: none"> ・謝罪、感謝、喜びを述べる表現の用法・意味を理解している。 ・予定変更に関して、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、書いて伝えようとしている。 ・職業体験に関して、考えを整理し、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に論理的に答えたりしようとしている。 	定期考査 課題 小テスト	11月 下旬 ～ 2月 中旬

年間評価	知	思	体
観点別評価割合 (授業内評価 + 定期考査評価)	46 % 程度	31 % 程度	23 % 程度

※「観点別学習状況評価」・・・3段階評価 (A/B/C) 【1学期末、2学期末、学年末 (年間評価)】

※「評定評価」・・・・・・・・・・5段階評価 (5/4/3/2/1) 【学年末 (年間評価)】

全体を通して	過去2年間で学んだことを活用し、話す活動や書く活動に能動的に取り組むことが大切です。そのためには、教科書や補助教材の問題をたくさん解き、知識として頭の中で整理し、それぞれの活動に繋げましょう。また、分からないところはそのままにせず、わからないことや疑問に思ったことはその都度先生や友達に聞いて解決しましょう。
--------	--

※副教材の扱い

- ・英文法強化演習 New Frame650 New Edition (桐原書店) 授業内や家庭学習で使用。
- ・Scramble 構文とイディオム 3rdEdition(旺文社) 授業内や家庭学習で使用。

令和8年度 科目別シラバス

教科	科目	単位数	学年	類型
外国語	英語総合	2	3	A1

教科書（発行者）	補助教材等（発行者）
本校編集の教材	英語総合問題集 TREASURE HUNT 4 3rd Edition

学習目標	やや社会的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、文章の展開に注意しながら必要な情報を読み取り、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができるようにする。英語による基本的な事柄のやり取りができるようにする。
------	---

評価の観点及びその趣旨	知	外国語の4技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 外国語の学習を通して、言語の働きや役割などを理解している。
	思	場所・目的・状況などに応じて、日常的・社会的な話題についての情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。
	体	他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。

単元及び学習内容	学習のアドバイス	評価方法	学習予定時期
<ul style="list-style-type: none"> ・読むこと ・聞くこと ・話すこと（やりとり） ・書くこと（英作文演習） ・Lesson 1, 2 	<ul style="list-style-type: none"> ・単語や既習の文法の知識を用いて文章の内容を理解し、必要な情報を読み取り、要点を捉えることができる。 ・既習の文法を適切に用いて、英語で自分の考えを表している。 ・英語で自分の考えをやり取りしようとしている。 	課題 授業内ス モールテ スト	4月～ 5月 中旬
<ul style="list-style-type: none"> ・読むこと ・聞くこと ・話すこと（やりとり） ・書くこと（英作文演習） ・Lesson 3, 4, 5 	<ul style="list-style-type: none"> ・単語や既習の文法の知識を用いて文章の内容を理解し、必要な情報を読み取り、要点を捉えることができる。 ・既習の文法を適切に用いて、話し方や発音を意識しながら英語で自分の考えを発表している。 ・英語で自分の考えをやり取りしようとしている。 	定期考査 課題 パフォー マンステ スト	5月下旬 ～ 6月 下旬
<ul style="list-style-type: none"> ・読むこと ・聞くこと ・話すこと（やりとり） ・書くこと（英作文演習） ・Lesson 6, 7, 8, 	<ul style="list-style-type: none"> ・単語や既習の文法の知識を用いて文章の内容を理解し、必要な情報を読み取り、要点を捉えることができる。 ・既習の文法を適切に用いて、英語で自分の考えを表している。 ・英語で自分の考えをやり取りしようとしてい 	課題 授業内ス モールテ スト	7月上旬 ～ 10月 月上旬

	る。		
<ul style="list-style-type: none"> ・読むこと ・聞くこと ・話すこと（やりとり） ・書くこと（英作文演習） ・Lesson 9, 10, 11 	<ul style="list-style-type: none"> ・単語や既習の文法の知識を用いて文章の内容を理解し、必要な情報を読み取り、要点を捉えることができる。 ・既習の文法を適切に用いて、話し方や発音を意識しながら英語で自分の考えを発表している。 ・英語で自分の考えを発表しようとしている。 	定期考査 課題 パフォーマンス テスト	10月中旬～ 11月中旬
<ul style="list-style-type: none"> ・聞くこと ・話すこと（やりとり） ・書くこと（英作文演習） ・Lesson 12, 13, 14, 15 	<ul style="list-style-type: none"> ・単語や既習の文法の知識を用いて文章の内容を理解し、必要な情報を読み取り、要点を捉えることができる。 ・既習の文法を適切に用いて、英語で自分の考えを表している。 ・英語で自分の考えをやり取りしようとしている。 	定期考査 課題 授業内スモール テスト	11月下旬～ 2月中旬

年間評価	知	思	体
観点別評価割合 授業内評価 + 定期考査評価	44 % 程度	33 % 程度	23 % 程度

※「観点別学習状況評価」・・・3段階評価（A/B/C）【1学期末、2学期末、学年末（年間評価）】

※「評定評価」・・・・・・・・・・5段階評価（5/4/3/2/1）【学年末（年間評価）】

全体を通して	<p>英語を希望した人が対象の授業なので、他の授業より進度を早めます。定期考査は年に3回しかありませんが、1期、3期には知識・思考を問う授業内スモールテストを行います。パフォーマンステストでも知識や思考の観点や授業内の英語でのやり取りを評価しますので、授業を大切にしてください。</p>
--------	---

令和8年度 科目別シラバス

教科	科目	単位数	学年	類型
情報	情報Ⅱ	2	3	A1

教科書（発行者）	補助教材等（発行者）
情報Ⅱ（東京書籍）	なし

学習目標	<p>情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的、創造的に活用し、情報社会に主体的に参画し、その発展に寄与するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 多様なコミュニケーションの実現、情報システムや多様なデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報技術の発展と社会の変化について理解を深めるようにする。</p> <p>(2) 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的、創造的に活用する力を養う。</p> <p>(3) 情報と情報技術を適切に活用するとともに、新たな価値の創造を目指し、情報社会に主体的に参画し、その発展に寄与する態度を養う。</p>
------	---

評価の観点及びその趣旨	知	多様なコミュニケーションの実現、情報システムや多様なデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報技術の発展と社会の変化について理解を深めている。
	思	事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的、創造的に用いている。
	体	情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価・改善し新たな価値を創造しようとしている。

単元及び学習内容	学習のアドバイス	評価方法	学習予定時期
(1) 情報社会の進展と情報技術	情報技術に親しみをもちましょう。生成 AI を「伴走者」として活用する方法を学びます。	・行動観察	4月上旬
(2) コミュニケーションとコンテンツ	高性能パソコンと動画編集ソフトを用いて学校 PR 動画を制作します。 3D 作成ソフトと 3D プリンターで試作と改善を行います。	・実技課題 ・行動観察	4月中旬～ 7月中旬
(3) 情報とデータサイエンス	テキストマイニングなどによるデータ分析を踏まえ提案へつなげます。	・実技課題 ・行動観察	11月上旬～ 11月下旬
(4) 情報システムとプログラミング	micro:bit でセンサーによる制御方法を学びます。	・実技課題 ・行動観察	9月上旬～ 10月下旬
(5) 情報と情報技術を活用した問題発見・解決の探究	学校・地域の課題を発見し、これまで学んだ手法を用いて根拠ある解決策を立案します。	・実技課題 ・行動観察	12月上旬～ 2月中旬

年間評価	知	思	体
観点別評価割合 《授業内評価》	40% 程度	40% 程度	20% 程度

※「観点別学習状況評価」・・・3段階評価（A/B/C）【1学期末、2学期末、学年末（年間評価）】

※「評定評価」・・・・・・・・・・5段階評価（5/4/3/2/1）【学年末（年間評価）】

全体を通して	「情報技術に親しみを持つ」ことを最重視し、グループ活動を基本とした探究的な学習を展開します。生成AIを「伴走者」として活用し、デジタル技術で課題を解決する体験を重視します。学校・地域の課題を発見し、データ分析やAI活用を通して根拠ある解決策を立案し、協働して成果物として表現・発信する力を育成します。
--------	--